

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月17日（水）

2 確認箇所

サブドレン中継タンクNo. 1～No. 3（図1）

3 確認項目

No. 1～No. 3サブドレン中継タンク及び移送ポンプの状況

4 確認結果の概要

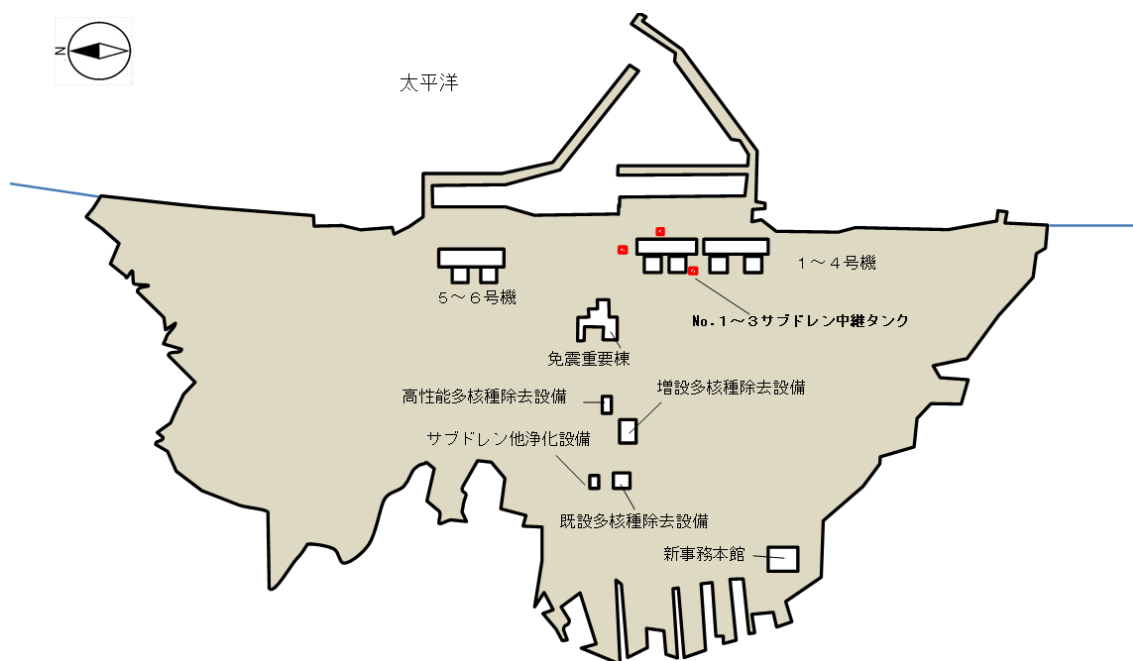
東京電力は、原子炉建屋等への地下水流入に伴う汚染水発生量を抑制する取組の一つとして、サブドレン設備を設置・運用している。本設備は、原子炉建屋周辺の地下水をサブドレンピットから汲み上げることで流入量を低減させるものである。汲み上げられた地下水は、サブドレン中継タンク及びサブドレン集水タンクを経由した後、サブドレン浄化設備において浄化处理され、排水基準を満たしていることを確認した後に、海洋へ排水されている。

今回はサブドレン中継タンクNo. 1～No. 3の設置状況を確認した。（前回確認：令和7年12月23日）

- ・サブドレン中継タンクは、プラスチック製の板で作られた小屋内に設置されていた。（写真1）
- ・サブドレン中継タンクの設備（タンク、移送ポンプ、水位制御監視用の「SDP制御盤^{※1}およびRIO電源盤^{※2}」を確認したところ異常は見られなかった。（写真2）
- ・タンクの周辺には高さ70cm程の堰が設置されており、万が一タンク内の水が漏えいしても、堰内に留まるように対策が講じられていた。（写真3）
- ・当日、No. 3サブドレン中継タンクでは移送ポンプが運転中であり、集水タンクへの地下水移送が行われていた。（写真4）
- ・確認した範囲では、設備及び配管からの漏えい等の異常は認められなかった。

※1 SDP制御盤：地下水を汲み上げるサブドレンポンプを運転・監視するための制御盤

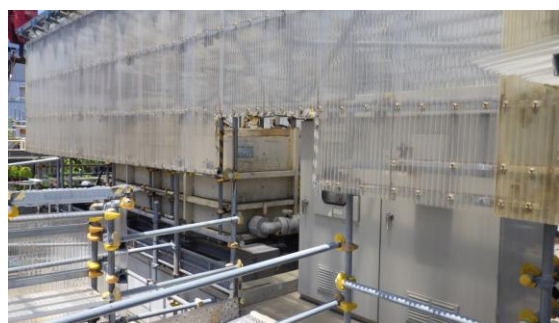
※2 RIO電源盤：遠隔入出力装置やユニットへ安定した電源を供給するための専用の電源を収めた盤



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) サブドレン中継タンク設置場所の状況 (No. 1サブドレン中継タンク)



(写真1-2) サブドレン中継タンク設置場所の状況 (No. 2サブドレン中継タンク)



(写真2-1) サブドレン中継タンクの設置状況 (No. 1サブドレン中継タンク)



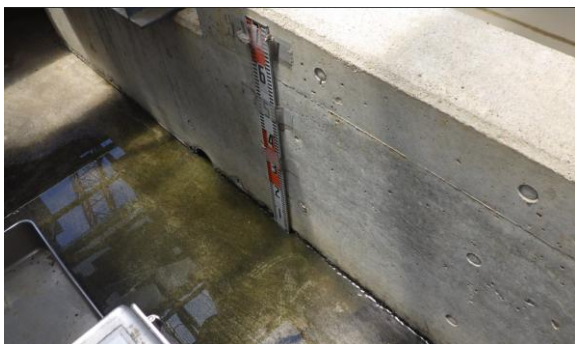
(写真2-2) 移送ポンプの設置状況 (No. 1サブドレン中継タンク)



(写真2-3) SDP制御盤の設置状況 (No. 1サブドレン中継タンク)



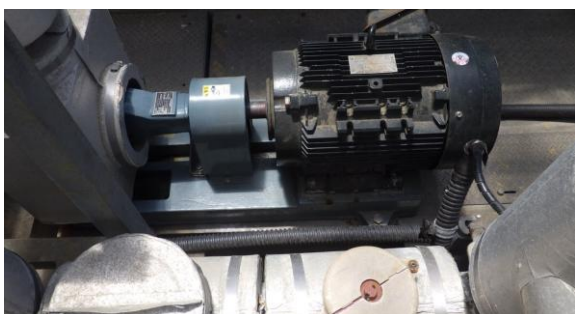
(写真2-4) R/O電源盤の設置状況 (No. 1サブドレン中継タンク)



(写真3) 堰内の状況
(No. 3サブドレン中継タンク)



(写真4-1) 流量計の表示状況
(No. 3サブドレン中継タンク移送ポンプ吐出流量計：1.00m³/h)



(写真4-2) 移送ポンプの運転状況
(No. 3サブドレン中継タンク)

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。